



写真提供/パラスポーツマガジン

★
AKB48・チームA 篠崎彩奈が

がんばる あなたを 応援中!

米澤さんについて
教えてください!!



PROFILE

米澤 諒

(よねざわ・りょう)

千葉県佐倉市出身
/ エスプール所属



農園で清掃などの管理サポート業務に従事している米澤さんに得意な仕事を聞くと「送迎バスの掃除が得意です!」と元気な答えが返ってきました。どこにやりがいを感じるかに対しては「バスの中がきれいになること」だとい



ています(父・寛さん)とのこと。競技生活を継続しながら社会人としての経験も積み現在の姿は「アスリートとしてだけでなく、ひとりで社会を生きていくために必要な多くの事を仕事を通して学ぶことができているはず(父・寛さん)」とのこと。

後年、縁あってエスプールさんとアスリート雇用契約を結んで、本人とご両親の夢であった「仕事と競技生活の両立」が叶うことになりました。

3歳の時に発達障がいと診断され、多動性障がいもあることから、「じつとしていられない子どもだった(母・しのぶさん)」といます。でも、その頃から現在に繋がる才能の片鱗を覗かせていたようで、「とにかく足が速くて、疲れ知らずでどこまでも走っていつてしまっ(しのぶさん)」という子どもだったようです。

パラリンピックへの出場を目指して日々トレーニングに励んでいるパラアスリートの米澤諒さん。

パラ五輪への出場を目指す新屋 仕事と競技生活の両立で夢を叶える



大会優勝時にご両親と記念写真。輝く笑顔が眩しい。

★取材後記

米澤さんの普段の働きぶりに関して「とにかくまじめだ」という職場での評判を聞きました。仕事も競技生活も「まじめ」に取り組む姿には感心するばかり。仕事と競技生活を両立させながら国際大会にも日本代表として臨む米澤さんの活躍を私も応援し続けていきたいと思っています。



一般社団法人Diversity A.C.千葉
代表理事 大門寛子さん

「社会人になってからの米澤さんに何か変化を感じることはありませんか?」
大門 入社して3年目になりますが、仕事をやるようになってから少しずつメンタルの安定や周囲への思いやりが行動として表出されるようになってきたと感じます。
—— どんな所に対してそう感じますか?」
大門 例えば、練習をしている最中にコーチに対しての報告や相談ができるようになってきたり、周りの人たちの動向を良く見ることができているようで、準備や片付けを自発的に手伝っている場面を目にすることが多くなりました。また、予期しない突発的な事象への対応ができるようになりました。そこにとっても成長を感じます。

支援員に聞いてみた!